

高知市

No.150

【編集発行】

社会福祉法人
高知市社会福祉協議会
高知市塩田町18番10号
TEL(088)823-9515
FAX(088)823-8059
E-mail:shakyo@kochi-csw.or.jp
URL:http://www.kochi-csw.or.jp/
平成27年10月発行



社協だより

町に愛を。胸に羽根を。

じよんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

www.akaihane.or.jp

今年も赤い羽根共同募金運動が
始まりました。

お寄せいただいた寄付金は、地域のさまざまな福祉活動やボランティアを支援するために役立てられます。

赤い羽根共同募金にご協力ください。



赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金

Illustration by アイラ
© Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

赤い羽根共同募金

©L5/YWP・TX

平成27年度
高知市の目標額
38,765,000円
(一般募金)
12,612,000円
(歳末たすけあい募金)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第55回高知市社会福祉大会開催!

「みんなが地域のアンテナ役」 ～老若男女 ほおっちょけん!～

入場無料

- 開催日:平成27年10月28日(水)
- 会場:高知市文化プラザ
かるぽーと(大ホール)



プログラム

- ◆12:30～開場 ●ロビーイベント開始!
◎出店コーナー(お菓子・野菜・手づくり小物など)
◎名士チャリティ色紙展示即売会 ◎カフェコーナー
- ◆13:00～ 開会・式典・表彰式
- ◆14:00～ パネルディスカッション
1.まちづくりについて
2.自主防災活動について
3.地域福祉について
コーディネーター
高知大学 地域協働学部 玉里 恵美子 教授
- ◆16:00 閉会

今年は「みんなが地域のアンテナ役」～老若男女 ほおっちょけん!～をテーマに、「まちづくりの推進」「防災対策の推進」「地域福祉の推進」という地域を舞台とした3つの大きな課題について、高知大学地域協働学部 玉里恵美子教授を交え、地域での実践報告とパネルディスカッションを行います。

ロビーでは福祉団体の出店コーナーなどもありますので、ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【主催】高知市・高知市民生委員児童委員協議会連合会・高知市地区社会福祉協議会連合会・高知市社会福祉協議会
※この記事に関するお問い合わせは「総務調整課」へ TEL:088-823-9515

「ほおっちょけん気持ちをプレゼント!!」 ～デイサービスで子どもたちとお遍路さんたちと交流を～

デイサービス奏

私たちもお遍路さんと一緒に回っている気分です!!

一宮にある「デイサービス奏」の利用者の皆さんは、子どもたちのためのフランス刺繍の雑巾やお遍路さんへのお接待カードづくり等、それぞれの得意分野を活かして地域貢献をされています。中でもキャラクターの刺繍入り雑巾は子どもたちに大人気。そして、雑巾を受け取った子どもたちは「キッズボランティア」として時々施設を訪れ、一緒に折り紙をするなど交流の輪を広げています。

また、お接待カードには「お遍路さんが無事に帰路につけますように」という思いと、「お遍路に行けない自分たちの思いと一緒に持って行ってもらえるように」という思いを込めて作られています。

細かい作業ではありますが、ご本人の手指訓練にもなっており、それぞれの得意分野を活かして、切る人・貼る人等の役割分担をしながら作業が行われています。

子ども達の喜ぶ笑顔、お遍路を終えた方からの御礼の手紙等、お渡しした方からの喜びの声・感謝の思いが原動力で、生きがいも感じられています。お互いを思いやる気持ち、まさに「ほおっちょけん」思いがあふれています。



願貝(ねがい)を込めたお接待カード



キャラクター雑巾

※この記事に関するお問い合わせは「地域協働課」へ TEL:088-856-5539

ほおっちょけんのススメ

～高校生ふくし体験学習～



高校生が社会福祉施設でボランティア活動を体験し、社会福祉やボランティア活動へ興味や関心を持ってもらうことを目的に、昭和61年から夏休みを利用した宿泊型の「ワークキャンプ～高校生ボランティア体験学習～」を行ってきました。

今年度は、高校生が自分で通える範囲の、より身近なデイサービス等の社会資源を知り体験することでお互いさまの地域福祉を学ぶ、通所型「ほおっちょけんのススメ～高校生ふくし体験学習～」を開催。

『将来社会福祉士を目指したい』『介護福祉士になりたい』など具体的な将来の夢や、『自分を高めたい』『進路を考えるきっかけに』など様々な思いを胸に、土佐女子高校・高知高校・小津高校・南高校から11名の高校生が参加しました。

7/22(水) 体験前の事前学習

ふくし体験とは、人と接することから始まります。そのために『コミュニケーションってどんな方法?どんな意味?』というテーマで事前学習を行いました。

現在すでにボランティア活動をしている方から、体験談を交えながら人と接する時のポイントなど講義をいただきました。高校生たちはメモを取ったり、「話しかけた方から話をしたくないと言われた時はどうしたらいい?」など質問をしたりと熱心に学習していました。

その後、高齢者コース・障害者コースに分かれてグループワークを行いました。高齢者コースでは高齢者体験や認知症について学び、障害者コースでは障害についての理解や接し方のポイントなどについて学びました。



いざ3日間の体験学習へ♪

高齢者や障害者の施設のうち希望した施設で体験学習を行いました。

初めて福祉施設体験をするということでもとても緊張していましたが、事前学習で学んだことを活かして利用者さんとお話したり、一緒に折り紙をしたりとコミュニケーションを図っていました。中には、利用者が喜んでくれたと思ったことを自分で考え、施設職員に相談し、実現できたという嬉しい報告もありました。

施設職員からは、施設を利用している方への接し方や、利用している目的などの説明があり、改めて福祉や介護についての学びを深めていました。



8/29(土) 体験後の振り返り

3日間の体験を終え、それぞれの感想を発表し合い、みんなで体験を共有しました。その後、『今、求められるボランティア』についての講義を受け、「コミュニケーションは、その人を理解しようとする愛情である」と高校生から素晴らしい意見も聞かれ、思いをより深めることができました。

最後に修了証と“ほおっちょけんストラップ”を授与し、ほおっちょけんのススメの全課程を無事に終了しました。



社協紹介
コーナー

共に生きる課ってどんなところ？

皆さんが生活する中で、困りごとや心配ごとを一緒に考え、解決するためのお手伝いをします。

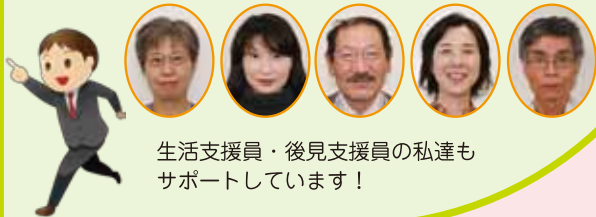


生活サポート担当

認知症・精神障害・知的障害などにより判断能力に不安があっても地域で安心して暮らせるよう成年後見制度等の活用方法の相談や権利擁護に関する相談窓口です。

こんな時は生活サポート
担当へご相談下さい

- 一人でお金を管理するのは自信がない。
- 認知症がある母のことで、銀行で大口預金が引けなかった。
- おとなりさんの家に最近、知らない人が出入りしているようだけど…。何かに騙されていないかしら。
- いまは元気だけど、将来何かあった時に財産管理ができなくなったらどうしよう。



生活支援員・後見支援員の私達もサポートしています！

生活福祉資金
貸付担当

低所得者・障害者・高齢者等の世帯の方を対象とした貸付や生活の相談窓口です。

～例えばこんな資金があります～

- 福祉費 家屋の修繕費、転居費用、家電商品の購入費用、冠婚葬祭に必要な諸経費等
- 緊急小口資金 初回の給料 満額支給までの生活費等
- 教育支援費 子ども等の進学に必要な費用

障害者相談
支援担当

高知市北部地域にお住いの障害児・者の方が生活を行う上での様々な困りごと等に対する相談窓口です。

(高知市障害者相談センター北部：直通088-820-5211)

障害児・者の方が福祉サービスを受けるためにサービス計画の作成や生活相談を行っています。

(障害者相談支援センター)

まずは「共に生きる課」へご相談下さい！！

※この記事に関するお問い合わせは「共に生きる課」へ (ニッセイ高知ビル3階)

TEL:088-856-5539 FAX:088-856-5549

社協の活動報告

デイサービスふれあい

在宅生活応援課

ふれあい夏祭り開催&サロンへのお誘い

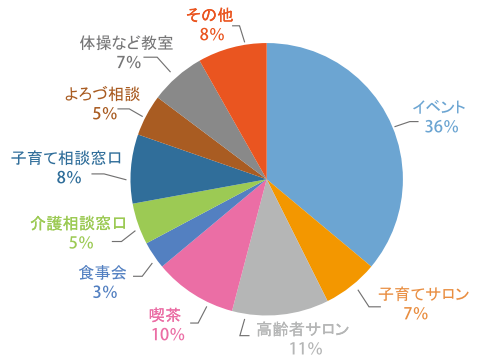
8月16日(日)に「第1回ふれあい夏祭り」が開催されました。小雨の降るあいにくの天気でしたが、近隣の方々やデイサービスの利用者、そのご家族など多数訪れていただき、楽しいひと時を過ごしました。

今後、毎月1回地域の方々が気軽に集まれるふれあいの場として「サロン(居場所)」を開催していけるよう準備を進めています。「こんなことをしてみたい」「お手伝いをしてみたい」などありましたら、ぜひ、そのお声をお聞かせ下さい。



【第1回ふれあい夏祭りアンケート結果】

Q 参加してみたい催しは何ですか？



●アンケートの結果を今後のふれあいサロンに役立てていきます!



※この記事に関するお問い合わせは「デイサービスふれあい」へ TEL : 088-823-9511

高知市成年後見サポートセンター

共に生きる課



市民後見人養成講座(基礎編)を開催しました

地域住民同士での支え合いの観点から、市民後見人の育成を目的として、平成25年度から市民後見人養成講座を開講しています。3年目となります平成27年度は、基礎編と応用編の2部に分けて開催。7月1日(水)～7月4日(土)の基礎編には、48名の方が受講されました。講座では、専門職の方や行政職員の方から成年後見制度の基礎や基本的な実務についての講義をいただいたほか、社協職員による社会福祉協議会の事業や生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者支援の取り組みについての紹介を行いました。講師の方々、受講者のみなさんのご協力のおかげで無事に基礎編を終了することができました。ありがとうございました。

市民後見人養成講座(応用編)のご案内

- 日 時：平成27年11月11日(水)～14日(土)
- 時 間：9:30～16:30 (14日のみ 9:00～12:30)
14日の午後はフォローアップ研修も予定しております。
- 会 場：高知市保健福祉センター
- 講義内容：市民後見人概論や民法についての基礎や対人援助の基礎などを学ぶ予定です。
※詳しくは下記お問い合わせ先までご連絡下さい。



講座の様子

※この記事に関するお問い合わせは「共に生きる課」 高知市成年後見サポートセンターへ TEL : 088-856-5539

平成27年度

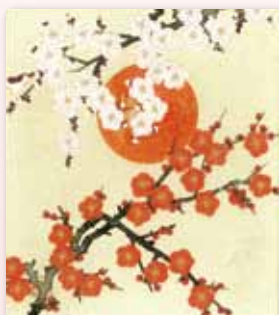
名士チャリティ色紙展示即売会

名士チャリティ色紙展は、各分野でご活躍されている名士の皆様にご染筆いただいた色紙を展示・即売し、収益金を障害のある方が働く事業所等の活動に助成。在宅心身障害者の生きがいを高め、その自立を図ることを目的として毎年開催しています。ぜひ多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日時：平成27年11月26日(木) 13:00~17:00
 11月27日(金)・28日(土) 9:00~17:00
 会場：高知市文化プラザかるぼーと7階(高知市九反田2-1)



ちばてつや氏(漫画家)



渡辺章雄氏(日本画家)



島川芳洲氏(書家)



紫舟氏(書家)

今年度出品名士

羽生善治氏(棋士)、ちばてつや氏(漫画家)、西原理恵子氏(漫画家)、矢野功氏(漫画家)、木村吉太郎氏(洋画家)、北村文和氏(染色家)、宮間あや氏(サッカー選手)、江本孟紀氏(俳優)、岡崎六泉氏(書家)、紫舟氏(書家)その他、多くの名士の皆様にご協力いただいています。

収益金はこのような事業に活用されています



訓練生がOA操作の練習に使用するパソコン購入費を助成しました。



生ごみ処理機の購入費を助成し、堆肥として畑に使用し、農作物を作っています。



◎色紙1枚5千円から(一部入札あり)。また、お気軽にご購入いただける安価なポストカードサイズの販売コーナーもございます。

平成26年度は、8事業所へ助成金を交付いたしました。今後も障害のある方の就労を支援するとともに、社会福祉活動推進に努めてまいります。

※この記事に関するお問い合わせは「総務調整課」へ TEL：088-823-9515

高知市社会福祉協議会の会員募集

高知市社協では、地域福祉活動を推進するために、社協活動にご賛同いただく会員を広く募集しています。賛助会員としてより一層応援していただけますよう心からお願い申し上げます。

- 賛助会員 (高知市内の福祉施設、団体、個人等でご入会いただける方)
 会費一口あたり 年額 500円
- 特別賛助会員 (会社、事業所等でご入会いただける方)
 会費一口あたり 年額 1,000円

社会福祉活動は、皆様の善意に支えられています。内祝・香典返しなど、ご寄付は高知市社協へお願いします。

この寄付は、ポイント相当金額が地域福祉活動のために使われます。

こうち笑顔マイレージ登録者 119名様

この寄付は、ポイント相当金額が地域福祉活動のために使われます。

また、各地区の民生委員児童委員協議会の皆様に、多くの物品を寄付していただきました。誠にありがとうございました。

ご寄付の紹介

平成27年6月以降

物品寄付



ありがとうございます